

科目名	多職種連携特論			担当教員名	三善 英知、和佐 勝史	
該当DP	3	単位数	1単位	必修	配当年次	1年次・第2セメスター(後半)
曜日・時限	土曜日・1限目			教室	視聴覚大講義室	
授業概要	多職種連携は、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、臨床工学技士など様々な職種が1つのチームをつくり、それぞれの専門性を活かしながら患者の治療に当たる医療の形態で、近年その重要性が注目されている。本授業では、臨床での実例をもとに、多職種連携の意義、チーム医療のあり方、各職種の役割および医療安全への貢献を理解する。					
到達目標	1) 多職種連携の目的、内容、意義を説明できる。 2) チーム医療としての各職種の役割を説明できる。 3) 臨床例において、チーム医療の実施計画を作成できる。 4) チーム医療が医療安全にどのように貢献するかを説明できる。					
回	日程	見出し	内 容			実践的な授業方法
1	11/28	多職種連携とは、自己体験から見た他職種連携(和佐)	多職種連携の目的、内容、意義を理解し、学生自身が経験したチーム医療を発表・討議する。[プレゼンテーション]			○
2	12/5	多職種連携における各職種の役割(和佐)	多職種連携において、各職種がどのような役割をもって治療に参加しているかを理解する。			○
3	12/12	内視鏡診療における多職種連携(三善)	近年、内視鏡技術の技術の進歩と、臨床検査技師の業務拡大により、消化器内視鏡診療における多職種連携の重要性が増している。本講義では、内視鏡診療におけるチーム医療の重要性を実例を通して学び、医療安全への理解を深める。			○
4	12/19	糖尿病管理における多職種連携(三善)	糖尿病は21世紀の国民病で、予備軍を含めると患者数は40歳以上の人口の1/4と言われている。近年、多くの新しい治療薬が開発されたが、糖尿病の基本治療は食事療法である。本講義では、糖尿病管理におけるチーム医療の重要性を学ぶ。			○
5	1/9	在宅医療と多職種連携(三善)	超高齢社会を迎えた我が国において、高齢者の在宅医療と介護は大きな社会問題の1つである。様々な事例における現状を理解し、在宅医療におけるチーム医療の重要性を実例を通して学び、医療安全への理解を深める。			○
6	1/16	肝臓疾患と多職種連携(三善)	ウイルス性肝疾患の医療事故のリスクを理解することは重要である。また近年の肝臓疾患とトピックとして脂肪肝がある。これらの肝臓疾患に対する診断・治療に関して画像診断や栄養指導などにおけるチーム医療の重要性を学ぶ。			○
7	1/23	多職種連携と医療安全 1(和佐)	臨床現場で経験する症例をもとに、各職種連携が医療安全にどのように寄与するかを各自でまとめ、討議することで、医療安全から見た多職種連携の意義を理解する。[プレゼンテーション]			○
8	1/30	多職種連携と医療安全 2(和佐)				○
キーワード		多職種連携、チーム医療、医療安全		履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	設定しない				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①討議への参加状況・発表内容(50%)、②レポート(50%)で評価する。 [①授業への前向きな参加、②多職種連携への理解と文章での表現力を評価します。]				
授業時間外に必要な学修		多職種連携に関する自らの経験、自施設の状況を確認しておいてください。				
学生へのメッセージ		積極的な授業への参加を期待します。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。